

# 東北地方 1か月予報

(6月18日から7月17日までの天候見通し)

平成17年6月17日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

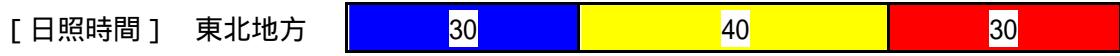
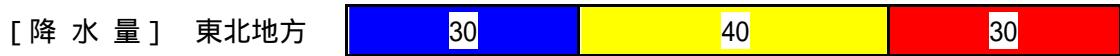
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年同様曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並でしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 6月18日(土) ~ 7月17日(日)

1週目 : 6月18日(土) ~ 6月24日(金)

2週目 : 6月25日(土) ~ 7月1日(金)

3~4週目 : 7月2日(土) ~ 7月15日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月24日

3か月予報:6月23日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	19.1	188.5	130.9	17.8	18.4	19.8
新庄	20.4	194.2	129.3	19.2	19.8	21.1
若松	21.5	173.1	137.0	20.3	20.8	22.3
深浦	19.3	136.4	165.5	17.8	18.7	20.1
青森	19.0	94.7	167.3	17.5	18.3	19.8
むつ	17.5	124.9	142.9	16.0	16.8	18.3
八戸	18.0	119.4	153.6	16.5	17.3	18.8
秋田	20.8	181.4	155.5	19.5	20.2	21.4
盛岡	19.9	153.7	130.1	18.7	19.2	20.6
宮古	17.9	147.2	127.3	16.5	17.1	18.7
酒田	21.1	193.3	151.7	19.9	20.5	21.8
山形	21.2	147.2	130.2	19.9	20.5	22.0
仙台	20.0	181.2	107.0	18.7	19.3	20.8
石巻	19.4	145.9	125.9	18.1	18.7	20.2
福島	21.5	159.3	110.6	20.2	20.7	22.3
白河	20.1	206.7	104.2	18.7	19.3	20.9
小名浜	20.0	166.1	121.8	18.7	19.4	20.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.4	87~114	90~110
東北日本海側	-0.4~+0.3	84~111	91~106
東北太平洋側	-0.5~+0.4	85~111	87~113

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.5	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.4	-0.5~+0.6	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.5	-0.7~+0.5	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年6月17日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(6月18日~7月17日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(6月18日~6月24日):

東北南部は明後日(19日)にかけて高気圧におおわれ、晴れる所がありますが、その後は前線や気圧の谷の影響で曇りでしょう。東北北部は期間の前半は高気圧におおわれ、おおむね晴りますが、期間の後半は気圧の谷の影響で曇る見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(6月25日~7月1日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(7月2日~7月15日):

前線や気圧の谷の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

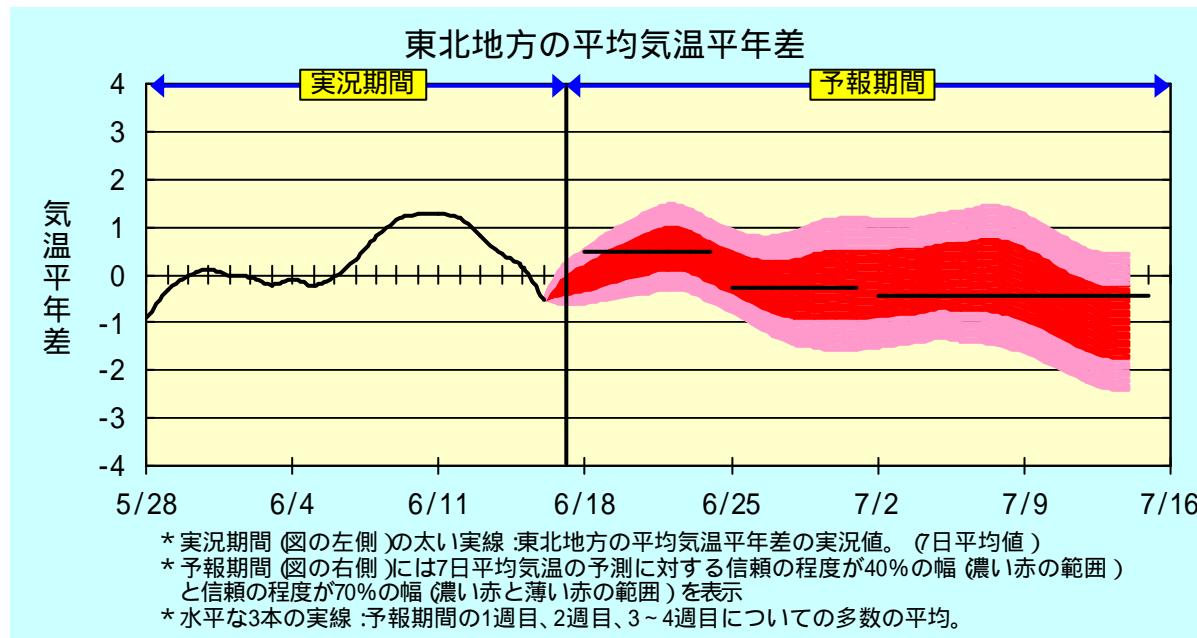
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.2日	2.9日	2.7日	5.6日
東北太平洋側	9.1日	2.3日	2.0日	4.8日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「高い」とする。

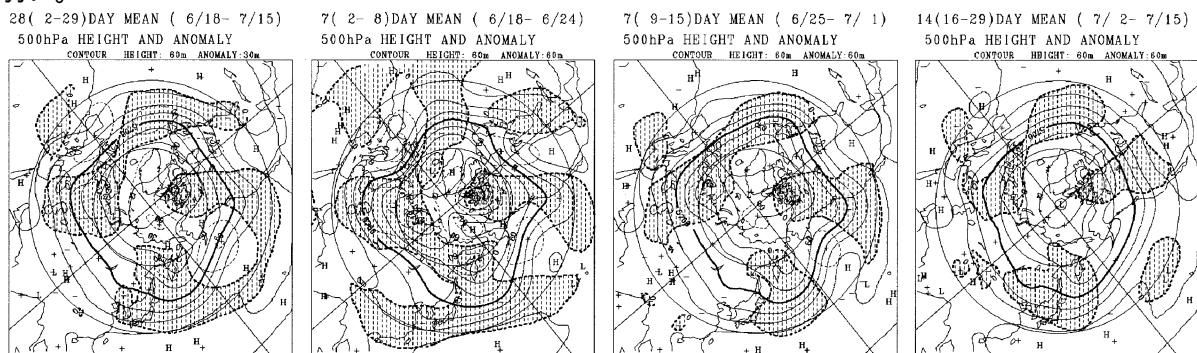
なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

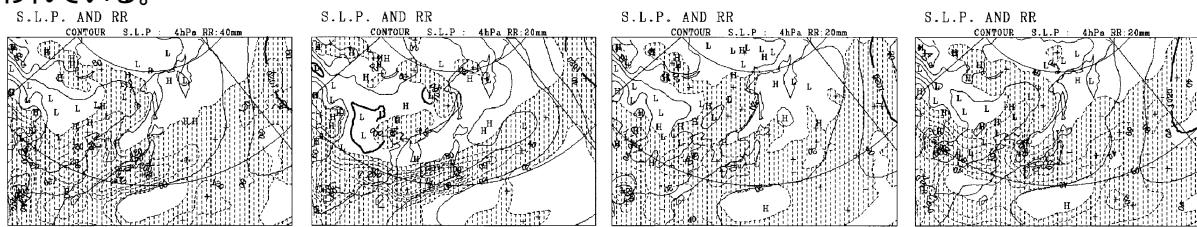
#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本はカムチャツカ半島から日本の東海上にかけての負偏差に覆われる。太平洋高気圧は西へ張り出す一方で日本への張り出しが弱い。1週目は東シナ海の気圧の谷が深く、日本の東海上にかけて負偏差、バイカル湖から華北にかけては正偏差。2週目は日本の東海上で負偏差。3～4週目は華北から日本の東海上にかけて負偏差で太平洋高気圧の日本への張り出しが弱い。



#### 地上気圧と降水量：

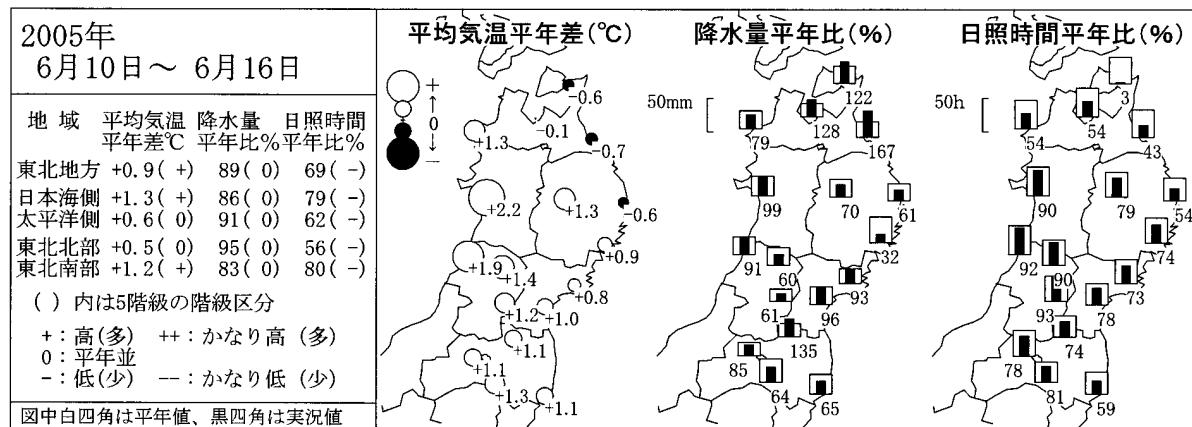
月平均では、太平洋高気圧の日本への張り出しが弱く、日本の南岸にまとまった降水域が予想されている。1週目は、日本の南岸にかけてまとまった降水域が見られる。2週目は、1週目と比べて前線の活動が不活発。3～4週目は本州に降水域の中心が見られ、東北地方も降水域に覆われている。



### 4. 最近1週間（6月10日～6月16日）の天候の経過

この期間、前半は気圧の谷の通過で東北北部を中心に曇りや雨となった。後半は北偏した高気圧や本州南岸の前線の影響で、東北太平洋側と東北南部では曇りや雨となったが、東北日本海側では晴れるところが多くかった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

## 2005年(平成17年)梅雨入り・梅雨明け(速報)

地方	梅雨入り			梅雨明け		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月2日頃	5月8日頃	5月5日頃		6月23日頃	6月23日頃
奄美	5月9日頃	5月10日頃	5月14日頃		6月28日頃	6月24日頃
九州南部	6月11日頃	5月29日頃	5月29日頃		7月13日頃	7月11日頃
九州北部	6月10日頃	6月5日頃	5月29日頃		7月18日頃	7月11日頃
四国	6月11日頃	6月4日頃	5月29日頃		7月17日頃	7月13日頃
中国	6月11日頃	6月6日頃	5月29日頃		7月20日頃	7月13日頃
近畿	6月11日頃	6月6日頃	6月6日頃		7月19日頃	7月13日頃
東海	6月11日頃	6月8日頃	6月6日頃		7月20日頃	7月13日頃
関東甲信	6月10日頃	6月8日頃	6月6日頃		7月20日頃	7月13日頃
北陸		6月10日頃	6月6日頃		7月22日頃	7月22日頃
東北南部	6月15日頃	6月10日頃	6月7日頃		7月23日頃	7月22日頃
東北北部		6月12日頃	6月19日頃		7月27日頃	7月22日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入りまたは明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の時期があります。  
平年の時期は1971年～2000年